

タイトル：『ファニーたい焼きトム15チ
ーズタツカルピ』

【シーン：発案】

（店内。トムが巨大なホワイトボードの
前でプレゼン風に立っている。魚住は腕
を組んで警戒）

トム（満面の笑み）「魚住、時代は変わ
る。たい焼きも進化しなければならぬ！
今日紹介するのは、新時代のたい焼き、
その名も……チーズタツカルピたい焼
き！！」

（ホワイトボードには謎の図解。「辛さ
レベル：未知」「チーズビヨン指数：
100%」などが書かれている）

魚住（冷静）「トムさん、そもそもタツ
カルピって韓国料理ですよ？なぜたい
焼きに……？」

トム（熱弁） 「Why not! ? 甘いものと辛いもの、これを融合させたら世界が変わるんだ! さあ、作るぞ! 」

（魚住、呆れながらもエプロンを着ける）

【シーン〳：調理・味見】

（店の厨房。トムがノリノリで調理開始）

トム（鼻歌まじり） 「まずはモチモチの生地! ここに甘みと香ばしさをプラス! そして具材! 鶏肉はジュシー、特製ソースで絡める! 」

魚住（疑念） 「……でもたい焼きに入れるにはちょっと重くないですか? 」

トム（ウインク） 「魚住、重さなんて気にするな。胃袋はチャレンジを求めているんだ! 」

（トムが大胆にチーズを投入。チーズが滝のように溢れ出す）

魚住（焦る）「やばいやばい！溢れすぎ！」

トム（爆笑）「いいんだ、フアニーであればすべてOK！」

（焼き上がり、試食タイム）

魚住（慎重に）「……………いただきます」

（ひとくち食べると、チーズがびよんと伸びる。口に入れた瞬間、甘み・辛み・旨みが大爆発）

魚住（絶句）「え……………えええ！？なん

か……………めちゃくちゃ美味しい！」

トム（ガッツポーズ）「イエーーーーー！！！」

【シーン③：開店・お客リアクション】

（オープン直後からお客が次々と来店。
大袈裟なりアクション満載）

サラリーマン（昼休み）

「よし、昼飯に……って何これ！？チーズが、チーズが俺の意思を超えて伸びる！」

（一口食べて）「甘い！でも辛い！そして……未知！クセになるううう！！」

大学生カップル

○ ●

彼氏「映え狙いだっただのに……」

美味すぎる！！」

○ ○

彼女「チーズびょーん！見て！

やばい！」

○ ○

（二人でカメラを構えながら

悶絶）

● ○

常連の老人（たい焼きマニア）

•

○

「ワシの知ってるたい焼きと

違う……でも、これはアートじ

ゃ！！」

○

○

（一口食べて目が光り出し、

超人的な動きで踊りだす）

○

魚住（驚愕） 「ちょっと！？ これ何か

やばい成分入ってません！？」

トム（高笑い） 「フッフッフハハハハ！！これ

がフアニー！たい焼きの力さ！！」

(SNS で拡散され、一気にバズる)

【シーン4：テレビ取材】

(店にテレビ局のレポーターが突撃)

レポーター(興奮気味) 「今、SNSで大バズりのたい焼き屋に来ています！早速、店主のトムさんにインタビュー！」

トム(ノリノリ) 「ウェルカム！さあ、ファニーたい焼きを楽しんでくれ！」

(レポーター、たい焼きをひとつくち食べると……)

レポーター(震え声) 「こ………これ

は………！！甘さの後に辛さが来て………チーズが口の中を支配するううう！！！」

(テレビ中継中に叫びながら悶絶、ネットですらに拡散)

【シーン5：スパイ来店】

（ある日、怪しい男が来店。サングラス
& 黒スーツ）

怪しい男（低い声） 「たい焼きをー
っ……」

（魚住が警戒しつつたい焼きを渡す。男
は慎重に口へ運ぶ）

怪しい男（絶句） 「……な、なんだこれ
は……！！」

（突然、サングラスを外す）

隣のたい焼き屋店主（驚愕） 「こんな
たい焼き、真似できるわけがない！！た
い焼きの概念を無視しすぎている！！」

トム（爆笑） 「HAHAHA！そう、それが
ファニーたい焼きさ！」

（スパイ店主、頭を抱えて退店）

【ラスト】

（店の外には長蛇の列。トムと魚住が満面の笑みで対応）

トム（ガッツポーズ）「次はどんなファニーたい焼きを作ろうか！？」

魚住（絶望）「もう普通のたい焼きでいいですってばあああ！！！」

（エンドロールへ。お客たちが次々とたい焼きを食べ、驚きと歓喜のリアクションを見せる）

【エンド】